



県教育委員会教職員課・総務福利課にマニュアル等の点検を依頼しました。

常任委員・常設委員の皆さんに編集を担っていただいているマニュアル・実務手引書等については、県内各地区から集まっていた県費事務改善検討委員の皆さんにもご尽力いただきながら、原案をとりまとめることができました。

10月9日（火）、できあがった原案の点検をお願いするため、会長、副会長、総務担当・事業担当各理事で県教育委員会教職員課・総務福利課を訪問いたしました。総務福利課は 久保 年金給付係長、南 福利係長に対応していただきました。今年度は、鹿児島県教職員福祉事業連絡会の事務局が公立学校共済組合であることから、新たに作成した「出産・育児ハンドブック」点検のとりまとめもお願いしました。たいへんお手数をおかけすることになりますが、快くお引き受けいただきました。また、制度変更、様式変更等の動向についても情報提供をお願いしました。

教職員課は、野村 給与係長に対応していただきました。マニュアルの質疑応答が追加されること、実務手引書についても新たに加えた項目が多数在ることから、たいへんなご負担をおかけすることになりますが、こちらも快くお引き受けいただきました。

県内の学校事務職員が適切な業務を行うための支援として、今年もご尽力をお願いし、限られた時間の中でしたが、マニュアル・実務手引書等の内容についても若干の意見交換をすることができました。県教育委員会教職員課・総務福利課の皆様には、各方面で業務改善を進めなければならない状況の中、今年度も点検をお引き受けいただいたことへ深く感謝したいと思います。

今後は、点検結果を受けて再び担当常任委員・常設委員の皆さんに編集作業をお願いし、2月中のCD配布に向けて準備を進めています。さらに、業務の推進、研修の充実にお役立ていただける内容を目指してまいりますので、今しばらくお待ちください。

「県事協CD 2018」 編集中です！

県事協CDには、県事協の「諸手当認定・電算マニュアル」「学校事務の実務手引書」の他にも、給与事務等の様式や各地区から寄せられた交流資料・過去の通知通達などの情報があります。パソコンがインターネットに繋がらなくても使えるのが利点です。

操作の詳しい方法は、CD内のPDFに記載してあります。

「県事協CD」のフォルダから開くとデータを探しにくくなりますのでご注意ください。

まず「index」を開いて、「メインメニューへ移動」をクリックすると、次のページへ移ります。

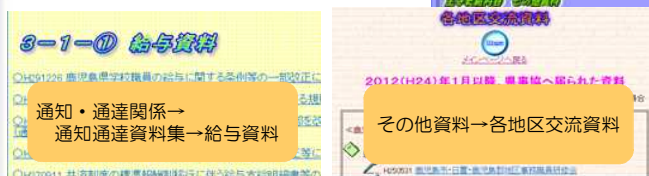


各項目にリンクを貼っています。それぞれのリンク先からデータを探してください。

(2018年2月末内容現在)

左図はリンク先の一例です。

現在「県事協CD2018」を編集中です。お気づきの点などがありましたら、どうぞ各地区の評議員へお知らせください。



各地区の事務職員会等の紹介

北薩地区
から

さつま町学校事務職員部会の紹介

さつま町学校事務職員部会

● さつま町について

さつま町は鹿児島県の北西部に位置し、周囲を薩摩川内市・出水市・湧水町・霧島市・始良市に囲まれた、盆地で緑豊かな自然環境の町です。海には面していませんが、本町の北東から南西にかけて南九州一の川内川が貫流し、上流部に位置する西日本最大級の鶴田ダムは観光名所としても知られています。

紫尾山の麓にある「紫尾温泉」、川内川沿いには「宮之城温泉」、また、川内川中流域をゆっくりと下りながらホタルの光乱舞を見ることができる「ホタル船」等魅力たっぷりのさつま町に一度お越し下さい。

● さつま町小・中学校の再編

さつま町では、平成28年度に小学校が再編されました。また、今年度末には4校ある中学校が1校に再編され、28年度には18校あった小・中学校が31年4月には10校（中学校1校、小学校9校）になります。数年後には小学校9校もさらに再編される計画です。

● さつま町事務職員部会、さつま町学校事務支援室

さつま町の事務職員部会は、町の教科部会の1つとして位置づけられ、年7回の事務職員部会を行っています。学校教育課が教科部会の旅費予算を設けているので旅費別途出張として参加するところが他の市町村とは違うところです。

部会の内容は、支援室の運営状況報告を毎回行い、互いの支援室で話題になったこと等、事務職員部会全体で共有していく体制を続けています。また今年度は、中学校再編に伴い事務職員数が減ることから支援室の再編準備にも教育委員会と協議しているところです。中学校再編の備品移管や閉校校の文書保存等についても対象校だけの問題とせず、さつま町事務職員部会全体で協議しながら進めています。

毎年1泊2日で管外研修視察（県費旅費で執行）にも行っており、県外での見聞も深めています。

事務支援室は、東部・中部・西部の3支援室で構成され、毎月2回程度開催しています。手当の認定回議、毎月の特種業務等の給与電算チェック、旅費請求書点検等を定例業務として行っており、「支援室便り」も支援室で輪番作成し、学校職員に配布しています。また、本町には毎年新規採用事務職員が配置されており、支援室単位でサポートする体制を取っています。

来年度は町内事務職員が13名から10名に減ります。どうにか続けてきた3支援室を2支援室に編成しなければなりません。教育委員会とも連携し、我々事務職員が活動しやすい支援室の枠組みを作り上げていきたいです。



鶴田ダム



期間限定で運行されるホタル船



自然豊かな観音滝公園

【さつま町観光特産品協会HPより】

鹿児島県教職員福祉事業連絡会からのお知らせ

あんしん むすぶ
教職員共済

ケガ・事故・賠償

レスキュースリー

交通共済



事故による賠償も

おまかせください！

鹿児島県の条例で自転車保険への加入が義務付けられました。

でも、レスキュースリーに加入していれば安心！

○個人賠償が1億円に！

*自転車同士でぶつかって相手に後遺障害を負わせた場合の賠償責任を補償(最高1億円)、組合員本人が加入されると家族も補償、**通学に自転車を使うお子様がいらっしゃる方にお勧め！**

*家族全員のケガを補償する家族型もあります。

○毎月の中途加入が可能に！いつでも加入OK!

*校舎内の階段や廊下での事故によるケガは交通事故扱い。

*国内外問わず、交通事故を含むほとんどすべてのケガを補償。

自動車共済

**好評！
見積もりキャンペーン実施中**

他社からの等級引継ぎもOK！電話で見積もりもできます。詳しいことは鹿児島県事業所にお問い合わせください。TEL 099-225-2587

教職員共済ホームページ

<http://www.kyousyokuin.or.jp/>

教職員共助会

367名の加入ありがとうございました！！

2017年度は、367名という新規会員を迎えることができました。この367名という数字は、事務の先生方の声かけとご協力の賜物だと思っております。

2017年度は、入会記念品の他に、キャンペーン企画として、新規入会の10名の方に10,000円の旅行券、1名の方に夜光貝のネックレスとピアスのセットを贈呈いたしました。

2018年度は、新規採用教職員の方で早速入会された方については、新たに入会グッズとして「印鑑入れ」又は「指し棒」をプレゼントしております。また、2018年度は、2017年度以上のキャンペーンを計画しております。ぜひ声かけをしていただけたら有難いです。

2018年度は、10月1日付で、新たに221名の会員を迎えることができています。10月3日には、「入ってよかった！！特集号」の共助会たよりを全教職員に送付をいたしました。事務の先生方には配布や事業説明等ごめんどろをおかけしますが、今後ともよろしく願います。

2018年10月10日 鹿児島県教職員共助会

県事協マニュアル印刷サービスの申込みについて

県事協マニュアル印刷サービスの申込みを開始します。今年度は認定・電算マニュアルの更新の他、実務手引書においては条例・規則に基づいた「給与事務編」(約130ページ)を追加いたしました。今年も各地区からの要望等を踏まえて県費事務改善検討委員会で精査したものとなっております。学校・支援室での認定業務等にお役立て頂ければと思います。私用または公費で注文される場合は、今後、各地区で配布される申込用紙にてご注文ください。

編集後記

地公法と地方自治法の改正により、臨時的任用職員・非常勤職員を対象とした「会計年度任用職員制度」が2020年4月より創設されます。現在学校には、こうした多くの方々が働いています。改正趣旨は、これまで不明確であった採用方法や任期等の根拠を明確にする事が目的となっておりますが、大きな要因として非正規職員の増加もあります。期末手当の支給や任用期間の空白について、是正を行うとした改善点もありながら、一方でその名のとおり原則、会計年度を超えない範囲の任用としたことで継続的な更新が難しくなるのではとの不安も広がっています。今後、この制度がどのように運用されていくのかによって私たちの業務にも何かしらの影響があるのではと思います。 広報担当 伊尻